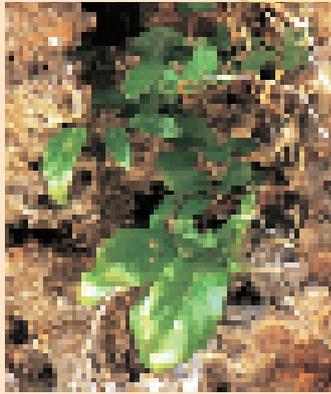


うるま市の蝶
シリーズ④

オオゴマダラ



石灰岩に自生するホウライカガミ

ホウライカガミの不思議

自宅でホウライカガミを育てたことがある方ならわかると思いますが、この食草はだいたいどんなところでも良く育ちます。土質もあまり選ばないし、育て方も簡単です。しかし、これが自生地になると話がちがってきます。

山間部でホウライカガミの群生しているのを見た方は、ほとんどいないと思いますが、では、一般にホウライカガミの自生地とされている海岸近くの岩礁地帯ではどうでしょうか。これもまたあまり大きな群落はお目に掛かることはないと思います。比較的育てやすいはずなのになぜ、と疑問が湧いてきますね。

よく見てみると岩礁地帯でも問題なく生育できる場所とそうでない場所があることに気づきます。その訳は、地下の水分量を感じ取っているからではないかと推測されています。

自分が生き残れる場所をちゃんとわかっているんですね。



鉢植えで育てたホウライカガミ

文・写真

うるま市ちようちよう愛好会

知念 秀樹

羽ばたけ!! スポーツ少年団



野球

宮里マックス

昭和49年の結成以来、野球を中心とした複合種目のスポーツ少年団として、中原小学校の児童43名（女子1名）が島袋啓三監督のもと活動を続けています。

「目的意識を持って楽しくやろう」を合言葉に、これまでソフトボールで九州大会県代表3回、スポーツ少年団駅伝大会優勝など輝かしい成績を収め、また、敬老会や盆踊りなど、地域の行事にも積極的に参加しています。

いろいろな種目に挑戦し、スポーツ精神を養うことを目標に日々頑張っている子ども達。

父母や監督は「活動を通して、両親や周りで支えてくれる人に対する感謝を忘れずに頑張ってもらいたい」と、いろいろな可能性を秘めた子ども達の成長に期待しています。

天願クラブ



バレーボール

天願クラブは、照屋茂男監督、仲間涼コーチ、奥田良均マネージャーの指導のもと、選手36名で構成。日々の厳しい練習の中「スポーツマンらしく競争心をもち、最後まであきらめない」をモットーにバレーボールの楽しさを味わいながら励んでいます。

キャプテンの玉柴百々菜、副キャプテンの新垣成瀬を中心にレフト、センター、ライト、レフトバックからの多彩な攻撃と高いブロック、安定したレシーブがチームの特徴。

一人ひとりが、自分のやるべきことをしっかりと意識し、拾って、繋げるプレーに生かして、目の前の一戦一戦を勝ちぬくことが目標です。

監督や父母は「普段から大きな声を出して、自分に自信を持ち、仲間を信じてプレーしてほしい」と子ども達のこれからの活躍に期待しています。